



ナイロン変色防止剤

センカメレガードN-01

(SENKA MELEGUARD N-01)

ナイロン繊維（ポリアミド繊維）は熱処理や、繊維製品の包装材料等に含まれるBHT（ジブチルヒドロキシトルエン）等のフェノール系酸化防止剤と環境中のNO_xガスの作用により黄変することが知られています。センカメレガードN-01で処理することにより、これらの黄変を抑制することが出来ます。

性質・性状

外観	黄色～褐色微濁液体
成分	特殊アニオン化合物
イオン性	アニオン
pH	約7（1%水溶液）
溶解性	水に溶解

（上記の数値等は代表値であり、規格値ではありません。）

特徴

1. 繊維内に吸収され、NO_xガス、BHT-NO_xによる黄変を抑制します。
2. 酸処理では防止出来ない熱による黄変を抑制します。
3. 70℃の低温で加工することが出来ます。
4. 吸尽法その他、パディング法でも使用できます。



使 用 方 法

被処理物の種類・形態・処理法により異なりますが、標準処方として、吸尽法の場合、センカメレガードN-01を2～8%o.w.f.、70℃で20分間処理した後、脱水、乾燥します。

パディング法の場合は、センカメレガードN-01 30～50g/L、(必要に応じてクエン酸 0～1g/L併用)をpadding, lining→Dryします。

性 能 試 験

試験項目： A) 熱黄変試験 (95℃×24時間, 72時間)

処理布を上記条件にてDRY HEATING TESTERでプレスする。

所定時間経過後、試験処理布の黄変の程度を確認する。

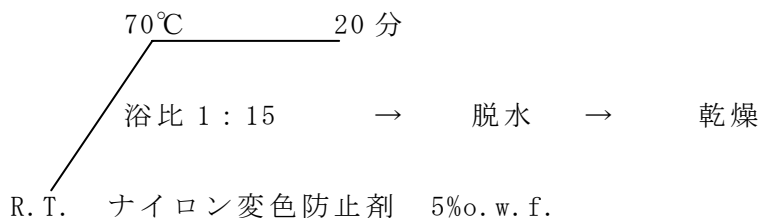
B) BHT-NO_xガス黄変試験 (コートルズ黄変試験)

0.01%DBNP (ジブチルニトロフェノール) を含浸, 乾燥した試験紙で試料布を個別にはさみ、さらにガラスプレートではさみこみ、汗試験機を用いて50℃±2℃×16時間保持する。

DBNPが試験紙から試料処理布に移染、呈色。試験処理布の黄変の程度を確認する。

試験条件:

処理法: 吸尽法



試料布: ナイロン-6-ジャージ

結果：黄変の程度を色彩色差計で測定。標本見本と測定結果を示す。

A) 熱黄変試験



	熱黄変試験					
	95°C × 24 時間			95°C × 72 時間		
	L値	a値	b値	L値	a値	b値
未処理	96.7	-1.2	6.8	95.8	-1.5	10.5
センカメレガードN-01	97.1	-1.2	5.7	96.7	-1.9	7.9
クエン酸	96.8	-1.8	7.9	95.4	-2.0	13.2
他社品	96.9	-1.4	6.2	96.6	-1.9	8.2

B) BHT-NO_x ガス黄変試験



	BHT-NO _x ガス黄変試験		
	L値	a値	b値
未処理	96.9	-4.6	13.5
センカメレガードN-01	97.4	-1.9	3.2
他社品	97.3	-1.6	5.1

色彩色差計 CR-200 (ミノルタ(株)製)

L値：明るさ - a値：緑方向 + b値：黄方向

ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行って下さい。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所(5℃～35℃)で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート(SDS)」を用意しております。
併せてご活用下さい。